

科目名	真言密教特殊講義H			学期	前期	単位数	2	担当者	北川真寛
副題	日本仏教・密教の思想や歴史、文化を学ぶ（上級編）								
ナンバリング	M3-01-313	授業方法	講義	実務経験の有無			有	関連DP	1,2

授業の目的と概要

日本のスピリチュアルケア実践の背景となる宗教の思想、特に日本密教や弘法大師の思想や歴史、専門的な用語などを学ぶことを目的とし、弘法大師や高野山の思想や歴史、文化について講義する。

授業の到達目標

- ・自らのスピリチュアリティや密教学の専門性を涵養する。
- ・真言密教の思想や歴史、文化を理解し、説明できるようになる。
- ・弘法大師の思想や生涯、さらに弘法大師や高野山への信仰を理解し、説明できるようになる。

授業計画

1. 絵伝にみる弘法大師空海の生涯 (2) 一生誕～入唐一
2. 絵伝にみる弘法大師空海の生涯 (3) 一入唐～帰国
3. 絵伝にみる弘法大師空海の生涯 (4) 一帰国後の活動～入定一
4. 弘法大師空海の著作
5. 弘法大師空海の教学一十住心思想の第八住心解説一
6. 日本密教の展開と法流
7. 真言密教の教学 (2) 一綵画形像の解説一
8. 真言密教の教学 (3) 一事六度の解説一
9. 真言密教の教え (4) 一一門普門の解説一
10. 弘法大師信仰 (1) 一入定信仰一
11. 弘法大師信仰 (2) 一全国に残る大師信仰一
12. 高野山の歴史と地理
13. 高野山の諸堂解説一バーチャル・ツアー一
14. 高野山の神仏習合
15. 高野山の町石道

準備学習（予習・復習）・時間

- ・事前学習として、真言密教特殊講義G（高野山の宗教文化Ⅰ）で学んだことを復習しておくこと（30分）。
- ・事後学習として、教科書や配付資料を見直し、解説した思想や用語を理解すること（60分）。

テキスト

北川真寛『はじめての「弘法大師信仰・高野山信仰」入門』（セルバ出版、2018年）

上記テキストを講義初日に講師が一括で用意する。

参考書・参考資料等

講義中に紹介する。

学生に対する評価

期末レポート（70％）、テキストの理解度（20％）、ディスカッションへの参加度（10％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

- (C) 基本的な密教の思想を理解できる。
- (B) 基本的な密教の思想・用語を理解できる。
- (A) 専門的な密教の思想・用語を理解できる。
- (S) 専門的な密教の思想・用語を理解し、自分の言葉で説明できる。

課題に対するフィードバックの方法

フィードバックの方法は講義の中で指示する。

その他

本講義受講の絶対条件とはしないが、「真言密教特殊講義G（高野山の宗教文化Ⅰ）」の講義内容を前提とするため、同講義をあらかじめ受講しておくか、もしくは並行して受講することことが望ましい。

実務経験のある教員が行う授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業内容か）

高野山真言宗の僧侶であり真言宗寺院の副住職である教員が、真言密教の教え・文化・歴史などを僧侶としての立場から専門的に解説する。